

平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月14日

上場会社名 名古屋木材株式会社
 コード番号 7903 URL <http://www.meimoku.co.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丹羽 耕太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 式守 正光

TEL 052-321-1526

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	3,841	4.9	57	112.6	73	42.0	53	790.2
29年3月期第3四半期	3,663	10.9	27		51		5	89.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 108百万円 (15.2%) 29年3月期第3四半期 94百万円 (23.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	146.10	
29年3月期第3四半期	16.41	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	6,758	2,065	30.6	5,671.83
29年3月期	6,878	1,967	28.6	5,402.78

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 2,065百万円 29年3月期 1,967百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				30.00	30.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,210	4.3	62		52	119.7	36		98.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	400,000 株	29年3月期	400,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	35,837 株	29年3月期	35,803 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	364,195 株	29年3月期3Q	364,198 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年12月31日まで)における日本の経済情勢は、企業収益の改善や良好な雇用環境が進み、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。また、消費者の節約志向は根強く、人手不足や不安定な国際情勢の懸念など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

住宅市場におきましては、全国の新設住宅着工戸数が前期比6ヶ月連続マイナスで1.3%減、持家住宅着工戸数においては7ヶ月連続マイナスの3.3%減で着工戸数が前期比を下回る結果となり、住宅産業においては大きな曲がり角に來たと言える状況になっております。

当第3四半期連結累計期間における当社の販売エリアである東海3県下の新規住宅着工戸数においては、総着工戸数は前期比2.7%の増加、持家着工戸数は4.6%の減少となり、総着工数が増える中、持家需要が全国平均以上に落ち込むという厳しい状況となっております。

このような状況の中で当社グループにおきましては、パワービルダーとの関係を深め、非住宅への販路拡大を進めると共に、地域型住宅グリーン化事業に取り組み地元工務店等取引先との関係強化や、メーカー協力のもと販売キャンペーンを行うなど、得意先へ積極的な販売活動を行ってまいりました。

またラジオCM等を活用し、分譲住宅・分譲マンションの販売活動を積極的に努めてまいりました。

以上の結果から、当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高合計は3,841百万円(前年同期比177百万円増、4.9%増)となりました。利益面につきましては、売上高の増加により、営業利益は57百万円(前年同期比30百万円増、112.6%増)、経常利益は73百万円(前年同期比21百万円増、42.0%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は53百万円(前年同期比47百万円増、790.2%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1) 営業本部

営業本部におきましては、主力市場である木造戸建ての着工数が減少する中、パワービルダー・地場ビルダーへの建材、プレカットの販売、非住宅関連への納材を強化してまいりました。

また、3次元マルチカットソーによる製品加工、パネル組立の一部内製化による収益改善を進めてまいりました。

その結果、売上高は3,290百万円(前年同期比55百万円減、1.7%減)となり、セグメント損失は72百万円(前年同期はセグメント損失62百万円)となりました。

2) 市場本部

市場本部におきましては、愛知県尾張旭市と岐阜県瑞穂市での分譲住宅の販売・開発、三重県鈴鹿市で11階建て43戸の分譲マンションの販売、注文住宅の施工とリフォーム事業を進めてまいりました。

その結果、売上高は326百万円(前年同期比223百万円増、216.4%増)となり、セグメント損失は27百万円(前年同期はセグメント損失73百万円)となりました。

3) 不動産事業

不動産事業におきましては、賃貸物件においては安定的な収入を継続して確保しております。

その結果、売上高は224百万円(前年同期比10百万円増、4.7%増)となり、セグメント利益は194百万円(前年同期比7百万円増、4.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末(平成29年12月31日現在)の当社グループの財政状態は、売上債権が前連結会計年度末に比較して86百万円の減少となりました。また、たな卸資産は主に不動産在庫が減少したことによって前連結会計年度末に比較して119百万円減少し、仕入債務はマンションの建設代金の支払が終わったことにより前連結会計年度末に比較して221百万円の減少となりました。

投資有価証券におきましては株式市況が好調を維持したことから、前連結会計年度末に比較して82百万円の増加となりました。

また、借入金残高は、前連結会計年度末に比較して69百万円減少しました。

以上の結果から、自己資本比率は前連結会計年度末に比較して2.0ポイント増加の30.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成29年5月15日に発表いたしました、平成30年3月期の連結業績予想から修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	524,041	580,311
受取手形及び売掛金	915,682	829,310
たな卸資産	1,595,712	1,476,482
その他	72,627	26,427
貸倒引当金	△14,800	△14,250
流動資産合計	3,093,263	2,898,281
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,610,184	2,610,184
その他(純額)	441,396	426,405
有形固定資産合計	3,051,581	3,036,590
無形固定資産	11,984	9,830
投資その他の資産		
投資有価証券	624,823	707,792
その他	164,152	172,380
貸倒引当金	△67,611	△66,811
投資その他の資産合計	721,365	813,361
固定資産合計	3,784,931	3,859,783
資産合計	6,878,195	6,758,064
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,262,200	1,041,120
短期借入金	1,408,000	1,198,000
1年内返済予定の長期借入金	699,214	729,344
未払法人税等	3,338	4,521
賞与引当金	15,000	10,500
その他	101,345	155,557
流動負債合計	3,489,098	3,139,043
固定負債		
長期借入金	604,674	715,051
繰延税金負債	516,303	548,533
退職給付に係る負債	111,228	106,868
受入保証金	134,065	133,922
その他	55,148	49,173
固定負債合計	1,421,419	1,553,548
負債合計	4,910,517	4,692,592

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	200,000	200,000
資本剰余金	6,567	6,567
利益剰余金	1,629,488	1,671,771
自己株式	△107,760	△107,819
株主資本合計	1,728,295	1,770,519
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	239,382	294,953
その他の包括利益累計額合計	239,382	294,953
純資産合計	1,967,677	2,065,472
負債純資産合計	6,878,195	6,758,064

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	3,663,748	3,841,623
売上原価	3,042,465	3,168,706
売上総利益	621,283	672,917
販売費及び一般管理費	594,015	614,952
営業利益	27,268	57,964
営業外収益		
受取利息	53	97
受取配当金	15,223	17,395
仕入割引	11,403	12,117
受取保険金	16,737	3,474
その他	5,598	6,515
営業外収益合計	49,016	39,600
営業外費用		
支払利息	17,170	16,650
売上割引	7,405	7,479
その他	—	27
営業外費用合計	24,576	24,157
経常利益	51,708	73,408
特別利益		
固定資産処分益	—	25
特別利益合計	—	25
特別損失		
固定資産処分損	142	644
減損損失	45,434	—
特別損失合計	45,576	644
税金等調整前四半期純利益	6,131	72,789
法人税等	154	19,580
四半期純利益	5,977	53,208
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,977	53,208

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	5,977	53,208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88,463	55,570
その他の包括利益合計	88,463	55,570
四半期包括利益	94,440	108,779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,440	108,779
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	営業本部	市場本部	不動産事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,346,395	103,289	214,064	3,663,748
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,308	10,828	—	24,136
計	3,359,704	114,117	214,064	3,687,885
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△62,065	△73,548	187,161	51,547

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	51,547
セグメント間取引消去	1,203
全社費用(注)	△1,042
四半期連結損益計算書の経常利益	51,708

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	営業本部	市場本部	不動産事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,290,561	326,857	224,204	3,841,623
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,949	151	—	12,101
計	3,302,511	327,008	224,204	3,853,724
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△72,237	△27,791	194,741	94,712

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	94,712
セグメント間取引消去	1,163
全社費用(注)	△22,467
四半期連結損益計算書の経常利益	73,408

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。